

氷見市の統計

(平成25年版)

氷 見 市

利 用 者 の た め に

- 1 本書は、原則として平成20年（度）から平成25年（度）までの資料を収録したものです。ただし、資料の有無その他の都合により適宜収録期間を伸縮したものがありません。
- 2 調査の時点・時期については、特に注記しないかぎり次のとおりです。
 - 「年」…………… 暦年（1月～12月）
 - 「年度」…………… 会計年度（4月～翌年3月）
 - 「年月日」…………… 調査年月日
- 3 資料の出所は、各表の下部に掲げ、刊行物によるものはその書名を付記してあります。
- 4 表中、特に説明を要するものについては、脚注とし、数値の単位については、一見して明らかなものは省略しました。
- 5 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。したがって、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。
- 6 表中の符号は次のとおりです。
 - 「－」 皆無又は該当数値がないもの
 - 「0」 単位未満のもの
 - 「…」 該当数値不詳のもの
 - 「 \times 」 該当数値の公表をさし控えたもの
 - 「 Δ 」 減少のもの
- 7 本書に収録した統計資料について疑義がある場合、あるいはさらに詳細な数字が必要な場合は、それぞれの資料提供機関、又は本市総務部総務課（0766-74-8033）に照会して下さい。

氷見市の市章

昭和33年9月4日制定



市章の意味

市名「ヒミ」を象形し、波高き海に朝日の映える発展の市をあらわしたものです。

氷見市民憲章 ～ みんなでつくる わたしたちのまち ～

平成25年4月1日制定

はるかに立山連峰を望む氷見市は、海から里山まで広がる豊かな自然に恵まれています。また、先人の知恵に学びながら、様々な歴史や文化を育んできました。

この美しいふるさとに愛着と誇りをもち、さらに市民が主役となってまちづくりを進めることを目指し、ここに市民憲章を定めます。

第1章 自然と調和したまち

海と大地の恵みに感謝し 豊かで美しい自然を守ります

第2章 笑顔あふれるまち

温かい家庭や地域の中で 健やかな心と体を育みます

第3章 安全安心なまち

信頼のきずなで支え合い 心豊かに暮らせるまちを築きます

第4章 市民が協働するまち

市民一人一人が自分のよさを生かし まちづくりに参加します

第5章 活力ある交流のまち

人も心も通い合う にぎわいと活気に満ちたまちをつくります

氷見市の姉妹都市

平成 25. 12. 31 現在

提携都市	提携年月	市役所所在地	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)
大町市	昭和47年11月	長野県大町市大町3887	29,543	11,778	564.99
島田市	平成17年9月	静岡県島田市中央町1-1	101,466	36,162	315.88
関市	平成11年3月	岐阜県関市若草通3-1	92,072	34,164	472.84

氷見市民の歌

昭和38年8月23日制定

辻本俊夫 作詞
北東稔 作曲

- 立山の峰を仰ぎて
新生の誓いもかたく
見よ ゆるがぬ栄えを目指す
生气満つる 希望のまちよ
あゝ氷見市 われらの氷見市
若き力 ここにみなぎる
- 有磯海 遠くかすみて
胸にわく 思いも深く
見よ 世紀の文化は薫る
人の和の ほほえむまちよ
あゝ氷見市 われらの氷見市
自治の理想 つねにかがやく
- 野に海に力あわせて
生産の調べも高く
見よ ゆたかなる生活を招く
かぎりなき 幸呼ぶまちよ
あゝ氷見市 われらの氷見市
のぞみ溢れ 永久に伸びゆく

氷見市の花と木

昭和50年11月1日制定

花 ゆり



花木 つつじ



樹木 つまま



氷見市シンボルキャラクター「キット」ちゃん

平成6年12月制定



氷見市の都市像「海とみどりの自在都市・氷見」その実現に向けたイメージキャラクター「キット」ちゃんです。元気いっぱいの幼な児が海の幸（氷見ぶり）を掲げ駆け出す姿は、氷見市の町、人々の更なる発展・生長を意味しています。

頭上には立山連峰の景観を表し、全体の形は氷見の「ひ」をイメージしています。